



学校だより  
**桜っ子  
通信**

校訓  
自ら学び  
自ら考え  
自ら行う

令和6年3月22日 第111号  
長崎市立桜町小学校長 野中 正樹

## 一年間ありがとうございました

本日、令和5年度の修了式を迎えることとなりました。新型コロナウイルス感染症が今年度5月8日に「5類感染症」に位置付けられたことにより、これまで、制限してきた学校行事なども以前の形で実施することができるようになりました。本校においても、運動会や桜っ子くんちをはじめとする様々な学校行事や、各種集会活動や委員会活動などの特別活動、社会科見学や野外宿泊、修学旅行といった校外行事をとおして、子どもたちは多くのことを経験し学びました。特に1学期の運動会、2学期の桜っ子くんち、3学期の冬のオリンピックは子どもたちの心に残っているようです。また、全市的な行事である、小体会、小音会、交歓会についても、保護者の皆様の参観も可能となり、参加した子どもたちも一層張り切っていたように感じました。

また、子どもたちの生活習慣向上を目指して取り組んだ「さくらまち習慣」にも全校で頑張りました。気持ちの良い挨拶や返事の習慣化、相手を思いやる心の育成、体力の向上など、これから社会に出ていく上で必要な力を少しずつ身に付けていきました。特に「さわやかワンストップあいさつ」に関連して、児童会が中心となって企画・運営を行った「あいさつピンゴ」の取組を通して、子どもたちが楽しんで気持ちのいい挨拶をするようになっていました。今後は、この「自分から、相手の目を見て、大きな声で、気持ちのいいあいさつ」が継続できるように取り組んでいきたいと思えます。「ちいさなことから あったか言動」に関連しては、多くの子どもたちが集う学校においては、子どもたちの間で些細なことと言い争いになったり、つい手を出してしまったりと、トラブルが起きますが、子どもたちに社会性を身に付けさせる上でそのような経験も、ある程度は必要なことでもあると思えます。これからも、子どもたち同士の争いが起きたときには、双方の話を聞いて、どう行動すべきだったかをしっかりと考えさせていきたいと思えます。今後とも「すべては子どもたちの未来ために」を合言葉にして、家庭や地域との連携を深め、子どもたちの健全育成に向けて、しっかりと取り組んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

## 桜町小第27回生 卒業おめでとう！

3月18日（月）長崎市立桜町小学校 第27回卒業証書授与式を執り行いました。本年度の卒業生67名は、将来の夢や家族や級友への感謝の言葉、中学校で頑張りたいことなどを堂々と発表しました。また、卒業証書授与に係る卒業生の所作もとても立派で、心から感心しました。そんな卒業生に式辞で「卒業生の皆さんは、ご両親の思いや願いが込められた名前にふさわしい生き方をしてきましたか。」と問いかけ、「一人一人が自分の名前に誇りと自信をもって、夢や憧れの実現に向かって、中学校生活の第一歩を踏み出してほしい」と伝えました。

なお、在校生を代表して5年生の〇〇〇〇〇さんが送辞を、そして、卒業生を代表して〇〇〇〇〇さんが答辞を述べました。二人とも落ち着いて堂々と発表することができました。きっとこの日のために、何度も練習してきたことでしょう。よく頑張りました。本当に立派でした。また、卒業生による「旅立ちの日に」の合唱では、美しい歌声を聴かせてくれました。このように子どもたちの頑張りのおかげで、素晴らしい卒業式となりました。



## 図書の出借冊数が大きく増えました！

本校では、子どもたちに多くの本を読んでほしいという願いを込めて、低学年150冊、中学年100冊、高学年80冊という目標冊数を定めて、目標をクリアした子どもたちに「目標達成賞」を授与しました。全校での目標をクリアした子どもの人数は、282名、達成率60%でした。昨年度の221人、達成率47%から大きく伸びました。全校の出借冊数の総計も65,396冊で、昨年度より約1万冊増えました。子どもたちは多くの本を読んだことがうかがえます。これも保護者の皆さんの声掛けや、図書委員会さんの頑張り、図書ボランティアの皆さんによる読み語りやパネルシアターのおかげです。心から感謝申し上げます。